



第 85 回 鳥取県中央メーデー大会 報 告

メーデースローガン

**力合わせよう！心つなげよう！
みんなの暮らしの底上げ実現のために**



4月27日(日)、県内3会場に約5,800人が集い、「第85回鳥取県メーデー大会」を盛大に開催しました。連合鳥取東部地協においては、中央メーデー大会と位置づけ、久松公園に約1,800人の働く仲間・家族が結集し、労働者の団結と要求をしっかりと地域にアピールしました。

オープニングセレモニーとして、かたつむり工房さんのオカリナ&手話を交えた合唱を行い幕を開けました。

「2014春闘」「労働者保護ルール」「選挙」

続いての式典では、主催者を代表して五十嵐会長が「東日本大震災から3年が経過した。被災地の復興はまだ道半ばの状況だ。連合も引き続き復興・再生に向けて支援と取り組みを進めていきたい。」さらに、「2014春闘は景気回復への期待感が高まる物価上昇局面でスタートした。3/12の大手中央の結果については、多くの組合が2001年以降最高額となる賃金改善を引き出すことができた。県内4/23時点での平均引上げ額は4,218円となっており、中央に追随する形で高水準で推移している。今後鳥取県の経済の好循環につながっていくと考える。交渉体制を堅持し、粘り強く最後まで闘っていただきたい。」また、「政府は労働者保護に関するルールを改悪しようとしている。労働者派遣法、解雇の金銭解決制度、限定社員制度など経済の好循環実現の方向とは全く違う政策をとろうとしている。まさに、賃上げを奨励する一方で、低所得者を増やし固定化する

ような矛盾した政策だ。働く者を踏み台にするような社会には断固反対しなければならない。」「政府の改悪政策を阻止できるのは「政治」に他ならない。私たちと同じ思いを同じくする地方議員・国会議員を多く誕生させなければならない。11月の鳥取市議会議員選挙、来年の統一地方選挙につなげなければならない。みなさんの力の結集をお願いしたい。」「連合鳥取は全ての働く者の連帯で格差社会をストップさせ、暮らしの底上げを実現し、働くことを軸とする安心社会につなげていくことを確認する。」とあいさつしました。

引き続き、林副知事、河野鳥取労働局長、伊藤民主党県連代表の3名から来賓を代表してあいさつをいただきました。

その後、川柳の表彰を行い、お楽しみ抽選会で盛り上がった後、プラカードコンクールと進み、メーデースローガンの確認、メーデー宣言・特別決議の採択を行い、山根議長の力強い“団結がんばろう”で式典が締めくくられました。そして、若桜街道を通り鳥取駅前花時計付近までのデモ行進を行い、しっかりと地域にアピールしました。



▲ご来賓の皆さま



▲司会
(情報労連 藤木真由さん)



▲メーデー宣言
(森林労連 河津陽平さん)



▲特別決議
(日教組 村上 大さん)

「働くことを軸とする安心社会」を実現しよう



いつも
ここに
防災ずきんを

自然災害保障付
火災共済

全労済

今日、「まさか」について考えよう。